SIFAニュース

NO. 128
2026 年度　春号
(公財)鈴鹿国際交流協会

内　容
［お知らせ］
〇わいわい春まつり
〇鈴鹿ロータリークラブからの寄贈
〇ベルフォンテン青少年相互交流
〇新職員の紹介
［報告］
〇ベトナムセミナー
〇バングラデシュ料理講座
〇R8 年度　事業計画

鈴鹿国際交流フェスタ 2026
わ い わ い 春 ま つ り

今年も、皆様が楽しみにされているわいわい春まつりの季節が近づいてきました。

今年は２カ所のステージを設けて９か国の音楽・ダンスのパフォーマンスを予定しています。

また、屋台やキッチンカーで、９カ国 21ブースのお店が出店しますので、様々な料理を食べ比べ、世界の味もぜひご堪能ください。

ご家族やご友人をお誘いあわせの上、ご来場いただき、楽しいひと時をお過ごしください。

と　き：5 月 17 日（日）　10：00～15：30
ところ：ハヤシユナイテッド文化ホール鈴鹿、西条中央公園

※詳細はチラシをご覧ください。

鈴鹿ロータリークラブからの寄贈

令和８年４月１日（水）に、鈴鹿ロータリークラブ様より、プロジェクターを御寄贈いただきました。

早速、４月８日（水）に開催いたしました、「わいわい春まつり実行委員会」の会議におきまして活用させていただきました。

今後も、本協会の各種事業に有効に活用させていただきたいと思います。

このたびは、どうもありがとうございました。

（左：プロジェクター、右：会議の様子）

鈴鹿市ベルフォンテン市 青少年相互交流事業
夏のホームステイ体験 派遣生募集！！

友好都市であるアメリカ・オハイオ州ベルフォンテン市との青少年相互交流事業の参加者を募集します。
現地でのホームステイ（５泊）の他、カナダ・トロントも訪問。ナイアガラの滝や発電所見学、トロント大学キャンパスツアーなど、充実したプログラムです。

ベルフォンテンってどんなところ？

１９９１年に鈴鹿市と友好協定を結び、広大なコーン畑と温かい人々が魅力の町です♪これまでに４５６人の生徒がベルフォンテンを訪れています。

７月２７日（月）	白子駅出発 中部国際空港→成田空港→カナダ
７月２８日（火） ナイアガラ トロント	観光 ＊ナイアガラ遊覧船 乗船 ＊ナイアガラ・パーク発電所 ＊トロント大学キャンパスツアー ＊リプリース水族館
７月２９日（水） ベルフォンテン	ピアソン空港→コロンバス空港 →ベルフォンテンへ ホストファミリーと面会
７月３０日(木) ベルフォンテン	ベルフォンテン公式プログラム ＊ベルフォンテン市長 表敬訪問 ＊消防署＆警察署見学 ＊ベルフォンテン市内視察
７月３１日（金） ベルフォンテン	ベルフォンテン公式プログラム ＊体験プログラム及び学生間交流
８月　１日（土） ベルフォンテン	終日ホームステイ
８月　２日（日） ベルフォンテン	＊フェアウェルパーティ
８月　３日（月） トロント	ベルフォンテン出立 コロンバス空港→トロント→羽田空港へ
８月　４日（火）	鈴鹿到着

派遣期間：2026年7月27日（月）から8月4日（火）までの9日間
派 遣 先　：アメリカ合衆国オハイオ州ベルフォンテン市（ホームステイ）
及びカナダ・トロント市およびナイアガラの滝周辺
募集人数：8名（選考試験により参加者を決定します）
参 加 料　：31万円
[本来費用の半額；渡航費の半分は鈴鹿市より助成を受けています]
（但し、燃油サーチャージ上昇分及び旅券取得等に要する個人的な費用は別途必要となります。）

参加資格：鈴鹿市内に在住する中学生、高校生又は高等専門学校生（3年生まで）、もしくはそれと同年齢の者で、過去に参加経験のない方。海外留学の経験のない人を優先とします。

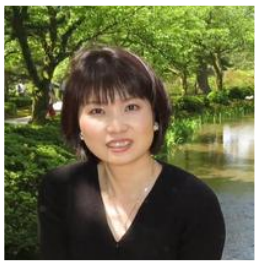
応募方法：参加申込書（鈴鹿国際交流協会のウェブサイトからダウンロード及び鈴鹿国際交流協会事務局、鈴鹿市近隣の中学校、市役所にあります。）に必要事項を記入の上、5月12日（火）（必着）までに（公財）鈴鹿国際交流協会事務局へ郵送又は持参して下さい。
※社会情勢や応募状況により本事業を中止する場合があります。

選考試験：5月24日(日)に、ハヤシユナイテッド文化ホール鈴鹿にて、筆記試験、英語と日本語による面接試験を行います。
※時間は、応募者数によって後日決定します。

新職員の紹介

みなさん、こんにちは。
４月１日から新たにお世話になることになりました、阿曽　麻理依（あそまりえ）です。
これまで国際交流や多文化共生について学びながら、SIFA の事業にはボランティアとして関わらせていただいておりましたので、働けることがとても楽しみです。
いままでの経験を活かしながら、皆さんのお力になれるように先輩方のちからをかりながら精進してまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

国際理解セミナー
「ベトナム再発見！！文化と暮らしのストーリー」を開催しました



2 月 15 日（日）、ベトナムをテーマとした国際理解セミナーを開催しました。

近年存在感を高めるベトナムへの理解を深めることを目的に、来日 23 年で 2020 年に帰化された金子 煌（ハン）さんを講師にお招きし、さまざまな視点からベトナムについてお話しいただきました。ハンさんは現在、司法通訳として活躍されており、「日本への恩返しとして挑戦したい」との思いから、今回初めて講師を務められました。緊張しながらも熱意をもって臨んでくださり、大変充実した講演となりました。

内容としては、交通事情や物価、キャッシュレス化が進む現代の暮らし、日本の ODA によるインフラ整備や IT 分野での連携など、日本との関係について紹介がありました。

通勤ラッシュ時に道路がバイクで埋め尽くされながらも大きな混乱が少ないというエピソードには、会場から笑いも起こりました。さらに、急速に進む都市化や経済成長の様子についても触れられ、ベトナムの勢いを実感する内容となりました。観光だけでは見えにくい現地のリアルな姿に、参加者の関心が高まっていました。

また、フォーやバインミーなどの食文化、伝統文化や家族を大切にする価値観、教育制度や子どもたちの生活の特徴についても触れられ、参加者は興味深く耳を傾けていました。特に、家族や親戚とのつながりを重んじる文化には、多くの感心の声が聞かれました。日常生活に根付いた習慣や価値観の違いを知ることで、理解がより深まる機会となりました。

最後には観光地の紹介もあり、質疑応答も活発に行われました。参加者からは具体的な質問が多く寄せられ、関心の高さがうかがえました。終了後も講師と交流する姿が見られ、充実したセミナーとなりました。

※内容について詳しく知りたい方は、SIFA ホームページに事業報告を掲載しておりますので、ご参照下さい。

バングラデシュ料理講座

3 月 22 日（日）、ハヤシユナイテッド文化ホール鈴鹿の調理室にて、バングラデシュ料理講座を開催しました。県外からの参加者を含め、32 名の方にご参加いただきました。

南アジアにあるバングラデシュでは、お米が年に 3 回収穫されます。お米の生産量は世界第 3 位で、さまざまな米料理があります。

香り米を使ったウコンライス、このライスに合うチキンカレー、そしてお米をスパイスとミルクで煮込んだデザート（フィルニ）を、バングラデシュ・チッタゴン出身の講師、イスラム・ディダルさんに教えていただきました。

カレーの作り方は、野菜や肉の調理法・順番が日本とまったく逆で、参加者はとても驚いていました。さまざまなスパイスの香りに包まれながら、楽しい昼食会となりました。

講師　イスラム・ディダルさん

使用したお米、スパイス、フィルニミックス

講座の様子

ベンガルチキンカレー、ウコンライス、フィルニ（お米のデザート）

★令和８年度　SIFA の事業計画★

① 地域レベルでの国際交流の促進・国際理解事業

・鈴鹿市ベルフォンテン市 青少年相互交流事業

鈴鹿市の友好都市である米国オハイオ州ベルフォンテン市へ中高生を派遣し、生徒同士の交流や、ホームステイによる市民交流を行い、両市の友好親善の推進を図ります。

・国際理解講座

異文化理解が深められるセミナーや料理講座を開催します。

② 多文化共生推進事業

・共生社会推進イベント（鈴鹿国際交流フェスタ 2026 わいわい春まつり）

本協会が事務所を置くハヤシユナイテッド文化ホール鈴鹿を会場に開催します。（チラシ参照）

・協会ホームページ

協会が実施する事業の他、災害時の避難所や日本語教室等の情報を掲載します。また Facebook や Instagram のページでは、鈴鹿市及び近隣市町の国際交流に関する色々な情報を掲載します。

・SIFA ニュース

賛助会員やボランティア会員等に、協会や各会員が行う各種事業の活動状況等を広報します。

・日本語講座

ア）市内在住外国人のニーズに応え、入門や初級の講座を開催します。

イ）市内で活動する 3 つの地域日本語教室に教室運営を委託します。

ウ）市内企業で働く外国人労働者向けにオンラインで入門～初級の日本語講座を開催します。

・相談窓口

日本語で送られてくる通知文書等の内容が分からず放置すること等で生ずる相談案件に、事務所窓口や電話等で応じます。また、ブラジルの臨床心理士によるポルトガル語での心の相談会を実施します。

・長期休み中の外国につながる子どもたちの学習支援の場づくり

夏休みや冬休みの課題を自宅で見られない家庭を対象に、宿題支援教室を開催します。市や教育委員会等と連携し，ボランティア支援者の協力をいただきながら実施します。

③人材の育成及び市民活動等の支援事業

・日本語ボランティアの育成

日本語学習をする外国人住民の学習環境の充実を図るため、ボランティアを育成します。受講後は、市内日本語教室や日本語サロンでの活動へとつなげていきます。

・多言語災害ボランティアの育成

県や市、社協等と連携を深め、大規模災害に備えます。また、市の防災訓練や社会福祉協議会の災害ボランティアセンター設置運営訓練に参加します。

・他団体等との連携

ア）県内の高校生等のインターンシップを受け入れます。

イ）多文化共生の活動を行っている「鈴とも」や「子ども支援ネットワーク会議」、「鈴鹿市災害ボランティアセンター連絡会」等への参加するほか、ボランティアと連携し「日本語サロンおいん」を運営します。

★R8 年度の事業計画・予算の詳細については、右の QR コードからご覧ください ➡ ➡ ➡

公益財団法人鈴鹿国際交流協会（SIFA）
〒513-0802　鈴鹿市飯野寺家町 810 番地　ハヤシユナイテッド文化ホール鈴鹿　（鈴鹿市文化会館）　2 階
TEL：059-383-0724　FAX：059-383-0639　✉ sifa@mecha.ne.jp　URL：http://www.sifa.suzuka.mie.jp